



多様なキャリア形成を考える

第二弾

外国籍児童生徒とキャリア教育

—増える外国籍の子どもたちの学びをどう保障するか—



●開催日時・場所●

【日時】：2020年1月18日(土) 13時15分～16時45分 (受付開始12時45分)

【場所】：早稲田大学16号館 106教室

●プログラム●

【第Ⅰ部】基調講演 外国籍児童生徒の学校適応と進路保障

【第Ⅱ部】質疑・応答

【第Ⅲ部】分科会 各会場にて各講師との意見交換など

【全体総括】

●講師紹介● 本シンポジウムでは、3名の講師からお話いただきます。



**群馬大学 大学教育・学生支援機構
大学教育センター教授
結城 恵 様**

専門は教育社会学。エスノグラフィの手法で、当事者の視点から多文化共生のあり方を探る。不就学児童生徒の実態調査（大泉町教育委員会との共同研究）、在日南米人学校の全国調査（文部科学省委託研究）等の実態調査を実施。合宿型研修「外国につながる子どもたちへの学習支援」（主催：全国市町村国際文化研修所）の講師を担当し、各地の学校・教育委員会・自治体・NPO関係者をつなぐ。



**一般財団法人自治体国際化協会
多文化共生課長 藤波 香織 様**

埼玉県庁入庁後、多文化共生施策の他、地域団体支援や専門職人材育成、中小企業支援や税務、福祉ケースワーク等に携わる。国際担当課では、外国人相談窓口の運営や子どもの学習支援、外国人住民の地域参画支援などに取り組む。現在、(一財)自治体国際化協会に出向派遣となっており、全国の地域国際化協会と自治体を支援する観点から施策立案支援等を行っている。



**東京都立一橋高等学校教諭
角田 仁 様**

神奈川県生まれ。1987年、都立高校の教員となり、大森高校、小山台高校、一橋高校等の定時制課程に勤務し、外国につながる生徒たちと出会ってきた。地域の支援者やNPO、専門家、大学等と連携し、多文化共生の教育に取り組んでいる。日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンスや多文化共生教育研究会に関わり、現在、外国につながる高校生の支援のための多文化共生教育ネットワーク東京（TEAM-Net）の立ち上げに参加している。

●企画者の言葉●

文部科学省の調査によると、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数は40,485人となっており、年々増加傾向にあります。都道府県別でみると首都圏のみならず全国的に外国籍児童生徒が在籍しており、日本のどの教育現場でも直面する課題です。本シンポジウムでは、教育的視点から外国籍児童生徒がよりよく生きるためには何ができるのかについて制度面や現場での実践等から考えるプログラムになっております。

まずは、知ることから一緒に始めてみませんか？ご参加お待ちしております。

(早稲田大学教職大学院修士2年 奥田 雅大・鎌田 真有)



【アクセス】

●JR山手線/西部新宿線 高田馬場駅 徒歩 20分

⇒都営バス「西早稲田」で下車 徒歩 3分

●東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩 10分

●都電荒川線 早稲田駅 徒歩 5分

★入場無料 定員80名(先着順) ※要事前申し込み

●問い合わせ先●

Mail : waseda.edupro19@gmail.com

HP : <https://wasedaedupro19.wixsite.com/career>

●申し込み先●

お名前と所属先もしくは職業を記載のうえ、上記のメールアドレスにご送信ください。右のQRコードからもお申込みいただけます。

